

## 再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課  
担当課長名：高松 諭

事業名	スマートICアクセス 主要地方道 諏訪辰野線 小坂～有賀	事業区分	地方道	事業主体	長野県						
起終点	自：長野県岡谷市小坂 至：長野県諏訪市有賀	延長	1. 4 km								
事業概要											
<p>主要地方道諏訪辰野線は、諏訪市から上伊那郡辰野町に至る路線である。</p> <p>中央自動車道（仮称）諏訪湖スマートICのアクセス道路となる当該箇所を整備することにより、諏訪湖周辺の地域観光の活性化に寄与するとともに、第一精密工業団地から諏訪ICの輸送ルートは慢性的な渋滞が発生しているため、（仮称）諏訪湖スマートIC設置により住宅地や渋滞箇所を回避した輸送ルートを確立することで、沿線地域の安全かつ円滑な交通の向上が期待される。</p>											
R2年度事業化	-	R2年度用地着手	R3年度工事着手								
全体事業費	約45億円	事業進捗率	約65%	供用済延長	- km						
計画交通量	4, 319台/日										
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">B/C (事業全体) 1.04</td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">総費用 (残事業)/(事業全体) 20/42億円</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">(残事業) 2.2</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">                 事業費：19/41億円                  維持管理費：1.6/1.6億円             </td> </tr> </table>	B/C (事業全体) 1.04	総費用 (残事業)/(事業全体) 20/42億円	(残事業) 2.2	事業費：19/41億円 維持管理費：1.6/1.6億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">総便益 (残事業)/(事業全体) 44/44億円</td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">基準年</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">                 走行時間短縮便益：32/32億円                  走行経費減少便益：9.5/9.5億円                  交通事故減少便益：2.5/2.5億円             </td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">令和4年</td> </tr> </table>	総便益 (残事業)/(事業全体) 44/44億円	基準年	走行時間短縮便益：32/32億円 走行経費減少便益：9.5/9.5億円 交通事故減少便益：2.5/2.5億円	令和4年	
B/C (事業全体) 1.04	総費用 (残事業)/(事業全体) 20/42億円										
(残事業) 2.2	事業費：19/41億円 維持管理費：1.6/1.6億円										
総便益 (残事業)/(事業全体) 44/44億円	基準年										
走行時間短縮便益：32/32億円 走行経費減少便益：9.5/9.5億円 交通事故減少便益：2.5/2.5億円	令和4年										
感度分析の結果											
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量：B/C=1.0~1.1 (交通量±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量：B/C=2.0~2.4 (交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=1.0~1.1 (事業費±10%)</td> <td>事業費：B/C=2.0~2.4 (事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=1.0~1.1 (事業期間±20%)</td> <td>事業期間：B/C=2.1~27.9 (事業期間±20%)</td> </tr> </table>						(事業全体) 交通量：B/C=1.0~1.1 (交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=2.0~2.4 (交通量±10%)	事業費：B/C=1.0~1.1 (事業費±10%)	事業費：B/C=2.0~2.4 (事業費±10%)	事業期間：B/C=1.0~1.1 (事業期間±20%)	事業期間：B/C=2.1~27.9 (事業期間±20%)
(事業全体) 交通量：B/C=1.0~1.1 (交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=2.0~2.4 (交通量±10%)										
事業費：B/C=1.0~1.1 (事業費±10%)	事業費：B/C=2.0~2.4 (事業費±10%)										
事業期間：B/C=1.0~1.1 (事業期間±20%)	事業期間：B/C=2.1~27.9 (事業期間±20%)										
事業の効果等											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諏訪湖へのアクセス性、利便性が向上し、観光資源の連携と観光振興が期待できる。</li> <li>・ 東京港や名古屋港など拠点間の所要時間が短縮され、輸送の効率化と精密製品への影響軽減となる。</li> <li>・ 高速道路へのアクセス10分圏域が拡大し、圏域人口が59%から72%へ増加する。</li> <li>・ 第一次緊急輸送道路に位置付けられている中央自動車道と連結することにより、災害に強い国土幹線道路ネットワークが構築される。</li> </ul>											
関係する地方公共団体等の意見											
諏訪市長・岡谷市長から諏訪湖スマートICの整備促進の要望活動が行われている。											
事業評価監視委員会の意見											
事業継続を妥当と認める。											
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等											
周辺環境等に特に変化はない。											
事業の進捗状況、残事業の内容等											
用地取得率約30%、事業進捗率約65%											
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等											
令和5年度の供用を目指し、引き続き事業を進める。											
施設の構造や工法の変更等											
引き続きコスト縮減に努めながら事業を推進していく。											
対応方針											
事業継続											
対応方針決定の理由											
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。											

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。